

今年度第4号のメールマガジンをお届けします。
受験を控えた中学生へ県立高等学校の魅力ある取組など有意義な情報をお伝え
しますので、ご活用ください。

公立高校ガイドブック、前期選抜入試に必要な志願理由書、平成26年度宮城
県公立高等学校入学者選抜一覧などの情報は、上記の高校教育課のホームペー
ジを御覧ください。

<それぞれの公立高校ホームページはこちらから>
⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/site/kyouiku/koukou.html>

■ もくじ ■

- 1 平成26年度入試に向けた公立高校情報の提供について
(1) 公立高校文化祭日程一覧
- 2 高校の特色ある取組（各高等学校からの情報）
 - (1) 泉高等学校
<オール・イングリッシュの授業風景>
 - (2) 泉松陵高等学校
<PT（パワーアップ・タイム）テストって何？>
 - (3) 岩出山高等学校
<地域協働の実践～食楽まつりを通じて～>
 - (4) 米谷工業高等学校
<専門性を生かしたテクノボランティア>
 - (5) 石巻好文館高等学校
<甲斐ある人といわれたいむ」での取り組み>
 - (6) 名取高等学校
<地域と共に生きる学校をめざして ～クリーン名取～>
- 3 学校紹介スペシャル
 - (1) 仙台東高等学校
<仙台東高校の学校紹介>
 - (2) 古川黎明中学校・高等学校
<スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校として新たなステージへ>
 - (3) 気仙沼西高等学校
<「自分」発見！「夢」実現！・・・選んで、進んで、輝いて！>
- 4 コラム（各高等学校からの情報）
 - (1) 柴田農林高校川崎校 副校長 遠藤吉夫
<川崎校の夏 つれづれ>
 - (2) 水産高等学校 教諭 大坂 久美恵
<オーシャンキャンパスを終えて>
- 5 お知らせ（各高等学校からの情報）
 - (1) 宮城広瀬高等学校
<お知らせ>
- 6 編集後記

■ 1 平成26年度入試に向けた公立高校情報の提供について ■

メールマガジン以外にも、公立高校のさまざまな情報を提供していきます。

□ (1) 公立高校文化祭日程一覧

夏から秋にかけて、今年も高校の文化祭が開催されます。生徒が中心となって、文化部のステージ発表や展示発表、模擬店の開催など、各学校とも趣向を凝らしたイベントが行われます。高校生の校内での活動を知る絶好の機会です。
高校教育課のホームページに、開催日時の一覧を掲載していますので、ぜひ訪れ

高校教育課 情報メール 2013.08.21 (vol.41).txt
で、普段の学習生活だけではない一面もご覧ください。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyuu/gak-schoolinfo-inndex.html>

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高등학교の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ (1) 泉高等学校

<オール・イングリッシュの授業風景>

メディアでも報道されているとおり、本年度、高等学校では新しい学習指導要領が実施され、英語の授業が大きく変わりました。具体的には「コミュニケーション英語Ⅰ」という普通科の科目で、オール・イングリッシュ、つまり英語の時間は、授業内容だけでなく生徒への様々な指示や、生徒からの質問等も原則すべて英語を使用した授業となっています。

実際の授業では、挨拶からはじまり、「昨日はどの科目の勉強をしましたか？」などという軽い会話から入り、テキストの内容を説明したり、写真を見ながら説明と感想を述べたり、またペア学習をしたり、グループ学習になったりと、1時間の中で様々な場面を作りながら英語を聞いたり話したりする活動が繰り広げられています。見ている方は目が回るくらいの忙しさですが、生徒たちはそれでも会話を楽しんでいる様子。

本年度本校は、この英語の授業が文部科学省から研究指定を受けており、具体的な授業の姿を研究し、発信していくことになっています。

<くわしくはこちら> <http://www.izumihigh.myswan.ne.jp/index.html>

<http://24127813.at.webry.info/201304/index.html>

□ (2) 泉松陵高等学校

<PT (パワーアップ・タイム) テストって何?>

PTテストとは、国語・数学・英語を中心とした「基礎力定着度テスト」のことで、基礎学力の定着と学力向上のために、定期考査とは別に時間を設け、月に1回程度、3教科まとめてテストを行います。実施するのは1、2年生です。

テストはマーク式で、主に、週末課題や朝学習、授業での内容など基礎・基本を中心とした問題を出題しています。

テストを実施した翌日には、結果が公表され成績表をもらえます。成績上位者(50名程度)は、クラスに掲示され学年通信にも掲載されます。

今やったばかりの内容がそのままテストに出るため、解ける問題がたくさんあり、「できる喜び」を味わうことができます。また、すぐにフィードバックすることで、授業内容をどの程度理解しているかがつかめ、苦手な分野を克服することにつながります。そして、定期考査までに反復学習することで、より深く内容を理解し、実力の養成につなげていくことができます。

このようにきめ細かな指導で強かに皆さんをバックアップするのが泉松陵高校です。

→ <ホームページはこちら> <http://www.shoryo.myswan.ne.jp/>

□ (3) 岩出山高等学校

<地域協働の実践～食楽まつりを通じて～>

地元大崎市の料理人の名手の方々が一堂に会し腕をふるう「食楽まつり2013」が6月22日・23日の二日間に渡り、鳴子峡レストハウス特設会場にて開催されました。今年度は実行委員会の皆様からの要請で「ぜひ地元の高校生の力を借り、高校生の新鮮な目線を通して感じることを大切に、食楽まつりを今後盛り上げていくための起爆剤にしたい」とのことで、本校生徒35名が参加させていただきました。

3月から事前研修会に参加し、食についての理解を深めるための議論を交わしたり、その後、地元の名産品「そばがりん」の試食会があったり、タブレット端末によるアンケート調査実施のための講習会に参加したり等、当日まで様々な形で研修を重ねた上で当日を迎えました。当日はタブレット端末を使用したアンケート調査の実施で、一人あたり一日20人以上を目標に、老若男女隔てなくアンケート調査に取り組み、中には30人以上の人に声をかけた生徒もおりました。また、その他の仕事として、来場された方々にパンフレットを配布したり、抽選会のアシスタントをしたり等、様々な運営上の業務に積極的に取り組み、実行委員の皆様から高い評価をいただきました。

「食」は誰もが必要としているものをテーマとした催し物が地域に存在し、かつその運営に携われる、ということは生徒達にとって大変貴重な経験となりました。このような生徒達の頑張る姿を通じ、地域密着型の学校としての「岩高」の魅力とは何か、という一つの観点を、学校づくりを再考する足がかりにしていきたいと切に思います。

□ (4) 米谷工業高等学校
＜専門性を生かしたテクノボランティア＞

本校では、3年間で身につけた専門力(知識、技術、技能)を地域社会に還元することを目的としたテクノボランティアを平成23年度から行っています。日頃からお世話になっている地域の方々への感謝の気持ちを込めて、これまで身につけた技術・技能と資格を生かしたボランティアを行うことで、生徒は地域社会へ貢献していることの喜びを感じるとともに、地域の一員としての自覚を強め、さらには将来の職業人としての実践力を養います。昨年は電気システム科と自動車科の3年生によって行われ、地域の方からは「きれいにしてもらって良かった」「卒業後も頑張ってもらいたい」などといった温かい励ましの言葉を頂戴しました。今年度は3学科でそれぞれ行われる予定となっており、機械システム科では地域の学校への教材・教具の製作支援と地元町内会へのベンチ等の制作・設置、電気システム科では地元住民(高齢者)宅の電気機器(照明器具等)の清掃・点検作業、情報技術科では近隣小学校の児童に対し、コンピュータ制御によるロボット操作の体験を企画しております。

→<ホームページはこちら> <http://maiya-th.myswan.ne.jp/>

□ (5) 石巻好文館高等学校
＜甲斐ある人といわれたいむ＞での取り組み＞

石巻好文館高等学校は、総合的な学習の時間を活用して、多様化している現代社会の中を生き抜く力となる「主体性や自発性」を育成することを重点目標にしています。本年度から実施された活動として、1・2年次全体でのボランティア体験活動があります。

7月19日にはボランティアの実践があり、部活動ごとに分かれた各グループが募金活動や清掃活動、保育園や仮設住宅への訪問・交流等を行いました。生徒が主体的に計画・立案した実施案に基づいてボランティアを実践し、地域の人々と交流を深め、将来の自己実現につながる行動力を養いました。

9月から1年次は在り方・生き方研究を、2年次は分野別課題研究を行います。講演会や進路につながる課題研究により自他の社会性やコミュニケーションスキルを高めていきます。3年次は、1日体験入学の企画・運営を通して母校の伝統や新たな歩みを中学生に主体的にプレゼンテーションし、大きな達成感を得ました。

石巻好文館高等学校では主体性や自主性にとどまらず、将来を見通した社会性や行動力を育む時間として総合的な学習の時間に取り組んでいます。

＜ホームページはこちら> <http://www.koubunkan.myswan.ne.jp/>

□ (6) 名取高等学校
＜地域と共に生きる学校をめざして ～クリーン名取～＞

名取高校は岩沼市の閑静な住宅街に位置する学校です。本校の創立当時の写真を見ると、学校の周りは田んぼや畑で住宅は数軒程度しかありません。しかし今、学校の周りには多くの住宅が建ち並び、当時の面影は全くと言っていいほど無くなっています。地域の移り変わりとともに本校も学科改編など様々な歴史を重ねてきましたが、常に地域の方々から変わらぬ多くのご支援とご理解をいただき、来年(平成25年)創立90周年を迎えることとなりました。本校では地域の方々への感謝の意味を込めて月2回「クリーン名取」という環境美化運動に取り組んでいます。各クラス年1回、4班に分かれ、LHRの時間や放課後、手にゴミ袋や火ばさみを持ちあらかじめ割り当てられた学校周辺の担当地域のゴミ拾いをおこないます。普段、お世話になっている地域の方々への恩返しと、自らの奉仕の精神を養うことが目的ですが、時には地域住民の方々や協同で作業することもあり、貴重な交流の場ともなっています。名取高校はこれからも「クリーン名取」を続け、地域とともに生き、成長していく学校をめざします。

→<ホームページはこちら> <http://www.natori-h.myswan.ne.jp/>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ (1) 仙台東高等学校
＜仙台東高校の学校紹介＞

本校は県内初の英語科が設置された学校であり、各学年は、英語科1クラス、普通科6クラスで構成されています。本校では進学を希望する生徒が多いため、授業の充実のほか、課外講習や休日勉強会、学習合宿など、進学を希望する生徒へのサポート体制が整っています。また、部活動も盛んで、多くの部が各種大会等で活躍しています。今年度は陸上競技部とテニス部女子シングルスで東北大会出場を果たしています。特に陸上競技部は、男女合わせて7人が東北大会に出場し、三段跳びで

は3年生の鈴木惇史君が優勝して、インターハイ出場を決めました。また、吹奏楽部も長崎で行なわれる全国高等学校総合文化祭に、パレードマーチング部門で参加します。

本校の特色は、国際交流や国際理解教育への取り組みが盛んであることです。今年もすでに、仙台市の姉妹都市であるベラルーシ共和国ミンスク市の児童・生徒12名、アメリカ合衆国で日本語を学んでいる高校生32名が本校を訪れる等、活発な交流が行なわれているところです。8/3～7には、希望者を対象に、シンガポールへの海外研修が実施されます。また、10/7～11をGLOBAL WEEKに設定して、国際講演会や異文化理解講座などを実施する予定で、国際理解教育を全校挙げて取り組みます。

なお、本校の東風祭（文化祭）8/31、GLOBAL WEEK 10/7～11は一般公開になっていますので、どうぞ見学にいらしてください。

→<ホームページはこちら><http://higasi-h.myswan.ne.jp/>

□（2）古川黎明中学校・高等学校

<スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校として新たなステージへ>

古川黎明中学校・高等学校は、併設型中高一貫教育校となって9年目。中高あわせて984名がともに学び、学習・部活動・行事・生徒会活動にお互いを高め合いながら取り組んでいます。特に、中学生、高校生と一緒にを行う体育祭・文化祭などの行事は、毎年激しい盛りあがりを見せます。

昨年度からSSHに指定され、様々な活動に取り組んできました。多くの著名な先生方にいろいろな場でご講演を頂きました。スカイプ中継を利用した授業、Sラボなどといった特色ある授業の展開、本格的なグループ別課題研究など科学への興味関心を高めました。

更に、今年度は、新校舎が7月に完成、夏休み明けから新校舎での授業となります。重厚なファサード（正面の外観）、吹き抜けの広々とした玄関、校舎に囲まれるよう建物の中心に位置するアリーナ、240名収容可能な大学のような大講義室、幅広い廊下でつながっている数々の特別教室等など、魅力いっぱいの校舎となっています。

校内のあちこちで本校の伝統である「おはようございます」（昼夜にかかわらず）の挨拶が飛び交う活気に満ち溢れた雰囲気が新校舎へと引き継がれます。

<ホームページはこちら><http://www.freimei-j.myswan.ne.jp/>（中学校）
<http://www.freimei-h.myswan.ne.jp/>（高等学校）

□（3）気仙沼西高等学校

<「自分」発見！「夢」実現！・・・選んで、進んで、輝いて！>

●2・3年次で3つの類型に分かれて学習

本校は、特色ある学校づくりの一環として、3類型制（進学類型・情報類型・福祉類型）を導入しています。生徒の特性や多様な進路に応じたきめ細かな学習内容を基本とし、生徒の進路達成のために取り組んでいます。1年次は共通履修で、2年次から3つの類型に分かれて学習します。

●進学類型

進学類型は、さらに2クラスに分けて、少人数での指導を展開しており、習熟度別学習や課外講習、小論文指導、進路に応じた選択教科を設けるなど、きめ細かい学習を行っています。3年次での選択科目は「医療・看護系」、「人文・教育系」に大別し、看護学校や医療系上級学校への進学、文科系大学・短大や幼児教育系の上級学校への進学、公務員試験等に対し実力養成のできるカリキュラムになっているところが特徴です。

●情報類型

コンピューターの基本的な操作からソフトウェアを活用した応用まで、幅広く学習することができます。また、「簿記」の授業では企業会計の処理の仕方を勉強し、3年次の「課題研究」では、これまで学習してきた内容をより深く探究します。ビジネス文書実務検定、情報処理検定、簿記検定など、社会に出て役立つ資格にチャレンジできるようになっています。

●福祉類型

社会福祉に関する知識を身につけるとともに、実際に福祉施設等での校外実習を行い、介護に関する知識や技術を学びます。卒業までに、これまでの訪問介護員2級に相当する介護職員初任者研修の資格を取得することができ、「福祉について深く学習したい」、「福祉の道へ進みたい」という生徒が意欲的に取り組んでいます。

→<ホームページはこちら><http://www.knisi-h.myswan.ne.jp>

■ 4 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ (1) 柴田農林高校川崎校 副校長 遠藤吉夫
 <川崎校の夏 つれづれ>

長かった梅雨が8月に入ってからようやく明け、この川崎にも暑い夏がやってきました。
 夏本番を迎え、3年生はそれぞれの進路実現に向けてエンジン全開です。参考書、問題集と格闘する顔つきは、真剣そのもの。緊張度が数ヶ月前と全然違います。
 一方で、体育館方向から響いてくるのは、川高祭に向けて「よさこい」の練習をするメンバーのかけ声。「ソオ～レ、ソオ～レ!」、「ソレ、ソレ、ソレ、ソレ!」。3年生を中心とした有志が、進路学習と並行して厳しい練習に励んでいます。今日は、教員1年目のA先生が練習参加。生徒職員と一緒に良い笑顔を見せて、心地よい汗を流しています。
 今日は、ほとんどの部活動が一休み。なぜだろうと思ったら、今日は、町内2箇所です。自然塾と町内福祉施設での夏祭り。一方は小さな子供たち対象、もう一つは高齢者の方々対象。川校生は地域のボランティア活動にとても積極的に参加してくれそうです。
 小さななんでものことですが、とてもいいなあと感じている変化(進化)がひとつ。1年生の挨拶の仕方が変わってきました。生徒らが腰をおろして休んでいるときに、我々職員が通り過ぎる際の挨拶の仕方です。入学まもない頃は、そのまま頭をぺこんとさげて、仕方なくこんにちとは挨拶していた者が少なくなかったのですが、今は、きちんと立ち上がって大きな声で挨拶してくれます。すばらしい進化だと思います。
 去年の川校祭。感動のあまり、ついほろりと涙を流してしまいました。宮城県下で最も小さな全日制普通科の学校が、この夏も一生懸命走っています。遅まきながら、ようやく鳴き出したセミの声。72名の生徒ひとりひとりへのエールにも聞こえてきます。

→ <ホームページはこちら> <http://www.kawasa-h.myswan.ne.jp/>

□ (2) 水産高等学校 教諭 大坂 久美恵
 <オーシャンキャンパスを終えて>

6月のコラムの紹介にあった7月15日(月)の海の日に実施した「オーシャンキャンパス」～「海の日」に宮水で海のことを考えよう～を、無事終えることができました。お越しいただいた皆様に教職員・生徒一同心より感謝申し上げます。
 オーシャンキャンパスも三年目を迎え、毎年ニュースや新聞等で報道されていることもあって多くの方々に参加していただき、およそ110名にもなりました。宮城丸乗船で80名の乗船予約があり、12日の締切りにはキャンセル待ちが出るほどでした。宮城丸の乗船は、前日からの大雨で出港が危ぶまれましたが、無事に体験することができました。皆さんにはとても喜んで貰えて良かったです。小型船体験の「スビカ」と「ベガ」での万石浦内体験乗船では、100名程の希望者があり、人気ぶりは上々でした。
 また、艇庫において実習体験がありました。航海類型では水産技術部生徒の指導によるロープワーク実習で、「もやい結び」や「巻き結び」に挑戦し、器用な人はより難しいロープワークにもチャレンジをしていました。一本釣り体験!(カツオの一本釣り模擬体験)では実際のカツオに見立てたペットボトルで、本物のカツオ釣りしているような感覚を味わっていました。ヨット部による救命イカダの展示があり、イカダの中で楽しそうに飛び跳ねて遊んでいる子どもの姿も見受けられました。増殖研究部による万石浦の生物と環境(プランクトン・幼稚魚の観察、カニ籠引き上げ体験・水質調査等)ではプランクトンを顕微鏡で興味深く覗いていました。
 マリントクノ類型は、エンジン分解・鋳物体験で金属(アロイ)を溶かし型にはめて、カメや魚の形をしたキーホルダーを作り、作品をお土産として嬉しそうに持ち帰っていました。これは毎年行列になる企画で、材料がたちまちなくなる程の盛況ぶりでした。食品科学類型では、調理研究部による「かまぼこを作ろう!」と題しての製造体験と干物(焼き)販売実習がありました。かまぼこ作りでは、自分で形づくったものを揚げて試食できるとあって幅広い人気を得ていました。焼き立ての干し物の魚は大変良い香りが立ち込め、すぐに完売しました。
 情報科学科では、情報無線研究部によるLEGOロボットプログラミング体験・課題研究紹介・ハイブリット製塩プラントの紹介がありました。動くロボットにジッと目を凝らして見ていたお子さんもいました。各類型の魅力ある実習は授業や部活動で行っている一部で、お客さんには大変喜んで貰いました。
 その他、水泳部によるダイビング器材展示・ウェットスーツの試着。JRC・生徒会は会場案内・誘導・清掃と各部が丸となって行事に参加しました。また情報企画部の教員による進学相談会コーナーもあり、学科改編のポイント、各類型や、新設される調理類型についての説明がありました。また下宿の紹介等、Q&Aのやりとりで熱心に話を聞く保護者の方や小・中学生の姿も多く見られました。今年度の「オーシャンキャンパス」も大盛況の中、終える事ができました。本当にありがとうございました。

→ <ホームページはこちら> <http://miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

高等学校からのさまざまなお知らせのコーナーです。

□ (1) 宮城広瀬高等学校
〈お知らせ〉

①「学校説明会」の報告

去る7月27日(土)に平成25年度の「学校説明会」を行いました。生徒343名、保護者88名の方の参加がありました。ありがとうございました。受付開始から全体会が始まるまでの約30分間、コンクール県大会を控えた「吹奏楽部」によるミニ演奏会で皆様をお迎えさせて頂きました。本校の「学校説明会」は会場の体育館まで「演劇部」「生徒会執行部」など生徒が案内・誘導を行い、「放送部」が司会進行し、入試や教育課程の説明は教諭が行いますが、部活動を中心とした学校の紹介は「生徒会執行部」がパソコンでプレゼンテーションを行うスタイルを取っています。「放送部」は東京で行われた「NHK全国放送コンテスト」を終えたばかりでした。全体会終了後は部活動見学・校舎見学の時間をとりましたが、突然の雨で部活動見学にも影響がありました。また、新しい「テニスコート」は見学して頂けましたが、残念ながら「弓道場」「武道館」等は紹介にとどまりました。また、参加された皆さん、広瀬高校はいかがでしたか。

②「文化祭」の案内

来たる9月7日(土)、「広高祭」(文化祭)の一般公開があります。まずは体育館ステージについて。例年よりパワーアップしている「合唱部」の発表は9時30分から、10時からはマーチングで全国大会連続出場の「吹奏楽部」のマーチング演奏・演技、そして「演劇部」の公演は11時からご覧いただけます。なお、「吹奏楽部」は12時30分から本校の中庭でも演奏及びパフォーマンスを披露します。次に校舎教室での展示・発表について。様々な書体、様式の伝統と格闘した成果を「半切」に表現する「書道部」、6月29日に校外で定例のお茶会を開き、好評だった「茶華道部」は部員一同、浴衣姿でお手前を披露いたします。「美術・陶芸部」は普段の取り組みを発表します。写真の本質を追究し、フィルムにどれだけの思いを込めることができるかにこだわり続ける「写真部」は今年も力作を期待できます。「奉仕活動部」は日頃のボランティア活動を写真等によって紹介します。その他「生活研究部」「自然科学部」「パソコン部」「囲碁将棋同好会」も日々の取り組みを発表いたします。

→<ホームページはこちら> <http://hirose-h.myswan.ne.jp/>

■ 5 編集後記 ■

先月までに地区別公立高校合同説明会が終了し、また多くの公立高校のオープンキャンパスも終了しました。まだ開催されていない高校や第2回目が開催される高校もありますので、こうした機会を積極的にご利用ください。

当課ではできる限りの情報をお伝えしたいと考えておりますが、中学生の皆さんも自らも情報を得る工夫を考えもらえると幸いです。

まだまだ暑い日が続きますが、規則正しい生活を心がけ、体調管理に留意してお過ごしください。

これからも「高校教育課 情報メール」をよろしく願います!

◇◇高校教育課 情報メール(メールマガジン)◇◇

○発行: 宮城県教育庁高校教育課
〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1
TEL: 022-211-3626/FAX: 022-211-3696